

学校法人昭和学院 平成25年度 事業報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日)

I. 法人の概要

1. 建学の精神

1940年（昭和15年）に創立された本学院は、本年1月をもって創立74周年を迎えました。

創立にあたり、掲げた教育理念は、「明敏謙譲」は、いつの時代にも変わらない不易のものであります。

これまでに本学院を巣立っていった4万人余の卒業生は、実社会で活躍しています。今後も、本学院は、建学の精神に基づく人間性豊かな人材の育成を推進し、さらなる飛躍を期していきます。

2. 学校法人の沿革

昭和15年	1月	昭和女子商業学校（修業年限4年）設置認可、同年4月1日開校（学制改正により昭和24年3月31日廃止）	
21年	3月	専門学校令により昭和女子専門学校（修業年限3年 経済科、被服科）設置認可、同年4月1日開校。（学制改正により昭和26年3月31日廃止）	
22年	5月	昭和学院中学校設置認可、同日開校、現在に至る。	
23年	3月	昭和学院高等学校（全日制普通科、商業科）設置認可、同年4月1日開校、現在に至る。	
24年	12月	昭和学院小学校設置認可、同25年4月1日開校、現在に至る。	
25年	3月	昭和学院短期大学（修業年限2年 国文科、被服科）設置認可、同年4月1日開学、現在に至る。	
26年	2月	学校法人昭和学院設立認可。	
33年	3月	昭和学院栄養学校（修業年限2年 栄養士養成科）設置認可、同日厚生大臣より栄養士養成施設として指定される。同年4月1日開校、現在に至る。	
42年	3月	昭和学院幼稚園設置認可、同年4月1日開園、現在に至る。	
43年	2月	昭和学院栄養研究所開設、現在に至る。	
51年	3月	昭和学院栄養学校組織変更（専修学校専門課程）認可、昭和学院栄養専門学校と校名を変更する。	
56年	4月	昭和学院短期大学学生定員変更（国文科100名を200名に、被服科100名を160名に）	
58年	3月	昭和学院秀英高等学校（全日制普通科、男女）設置認可、同年4月1日、千葉市美浜区若葉1丁目に開校、現在に至る。	
60年	3月	昭和学院秀英高等学校付属中学校（男女）設置認可、同年4月1日開校。	
平成	5年	4月	昭和学院短期大学被服科を生活文化科と科名変更。
	6年	6月	昭和学院高等学校商業科を廃止。
	8年	4月	昭和学院秀英高等学校付属中学校を昭和学院秀英中学校と校名変更。
	11年	4月	昭和学院短期大学国文科を日本語日本文学科と科名変更。
	11年	4月	昭和学院高等学校収容定員変更（2160名を1800名に）。
	11年	12月	昭和学院短期大学にヘルスケア栄養学科設置認可、

- 同12年4月1日開設。
- 13年 3月 昭和学院栄養専門学校を廃止。(平成13年3月28日、千葉県知事認可)
- 13年 4月 昭和学院幼稚園収容定員変更(300名を270名に)。
- 14年 4月 昭和学院小学校収容定員変更(540名を480名に)。
- 14年10月 昭和学院短期大学に人間生活学科設置認可、同15年4月1日開設。
- 15年 4月 昭和学院高等学校収容定員変更(1,800名を1,200名に)、同時に男女共学化を実施。
- 15年 4月 昭和学院中学校収容定員変更(1,080名を600名に)、同時に男女共学化を実施。
- 16年 4月 昭和学院短期大学生活文化科、日本語日本文学科を廃止。
- 17年 4月 昭和学院短期大学の男女共学化を実施。
- 4月 昭和学院短期大学が財団法人短期大学基準協会会員となる。
- 18年 4月 昭和学院高等学校収容定員変更(1,200名を960名に)。
昭和学院中学校収容定員変更(600名を432名に)。
昭和学院秀英高等学校収容定員変更(675名を720名に)。
昭和学院秀英中学校収容定員変更(540名を480名に)。
昭和学院幼稚園収容定員変更(270名を180名に)。
昭和学院新キャンパス計画着手
- 20年 4月 昭和学院小学校校舎完成
7月 秀英中学校高等学校中央棟新築完成
12月 昭和学院中学校高等学校校舎棟1期工事完成
- 21年 2月 伊藤記念ホール新築落成
10月 昭和学院短期大学附属栄養科学研究所落成
- 22年 3月 昭和学院中学校高等学校校舎棟2期工事完成
昭和学院短期大学新学生センター落成
4月 人間生活学科人間発達専攻をこども発達専攻に専攻名変更
6月 新体育館新築落成
9月 昭和学院新キャンパス落成
10月 昭和学院創立70周年記念式典挙行
- 23年 4月 昭和学院短期大学人間生活学科生活文化専攻を生活クリエイション専攻に専攻名変更
- 24年 4月 昭和学院短期大学人間生活学科生活クリエイション専攻入学定員変更(40名を30名に)
こども発達専攻入学定員変更(40名を50名に)
- 25年 4月 昭和学院短期大学こども発達専攻入学定員変更(40名を50名に)

3. 設置する学校・学部・学科等

- (1) 昭和学院短期大学(昭和25年度開設) 男女共学
人間生活学科 生活クリエイション専攻
こども発達専攻
ヘルスケア栄養学科
- (2) 昭和学院高等学校(昭和23年度開設) 全日制、男女共学、普通科

- (3) 昭和学院秀英高等学校(昭和58年度開設) 全日制、男女共学、普通科
- (4) 昭和学院中学校(昭和22年度開設) 男女共学
- (5) 昭和学院秀英中学校(昭和60年度開設) 男女共学
- (6) 昭和学院小学校(昭和25年度開設) 男女共学
- (7) 昭和学院幼稚園(昭和42年度開設) 男女共学

4. 役員概要 (平成25年4月1日現在)

役員 9名 (理事 7名、監事 2名) 定員数 理事5名～7名、監事 2名

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
理事長	山本 徹	理事	水野 正子	理事	井上 俊彦
理事	辻野 史朗	理事	畑江 敬子	監事	銭谷 眞美
理事	加藤 丈夫	理事	山崎 一男	監事	竹内 清海

5. 評議員概要 (平成25年4月1日現在)

評議員 16名、定員数 15名以上～21名以内

氏名			
桑村 典子	井上 俊彦	工藤 啓子	加藤 丈夫
山崎 一男	山崎須美子	辻野 史朗	八田 吉浩
山口 敏子	太田 ふじ	山本 徹	伊藤 アヤ
齋藤 紀子	水野 正子	畑江 敬子	鈴木 祐子

7. 教職員概要 (平成25年4月1日現在)

	教員職	事務職	計	非常勤
短期大学	28	8	36	33
高等学校	62	11	70	32
中学校	27	1	27	5
小学校	23	0	23	8
幼稚園	9	0	9	4
秀英高等学校	52	5	57	9
秀英中学校	35	2	37	8
合計	236	27	259	99

Ⅱ. 学校法人昭和学院 平成 25 年度事業報告

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

1. 法人の概要

1940(昭和 15)年に創立された本学院は、本年 1 月をもって創立 74 周年を迎えました。創立にあたり掲げた建学の精神「明敏謙讓」は、いつの時代にあっても不易のものです。

これまでに本学院を巣立っていった 4 万人余の卒業生は、実社会で活躍しています。今後も、本学院は、建学の精神に基づく人間性豊かな人材の育成を推進し、さらなる飛躍を期していきます。

特記事項

(1) 昭和学院短期大学

- ・平成 25 年度 短期大学基準協会による第三者評価の結果適格と認定された
- ・人間生活学科こども発達専攻の定員変更が文部科学省及び厚生労働省から認可された(平成 26 年度から入学定員 50 名→60 名)
- ・交流協定校 台湾実践大学民生学院(学部)の学生 34 人及び至善高中師生約 18 人が本学の見学、実習への参加等を目的として来日

(2) 昭和学院中学校・高等学校

- ・高校・臨時入学定員の受け入れ(40 名増、320 名→360 名)を平成 25 年度も引き続き実施、中学校・特進クラスの設定

(3) 昭和学院秀英中学校・秀英高等学校

- ・秀英高校・臨時入学定員の受け入れ(40 名増、240 名→280 名)を平成 25 年度も引き続き実施
- ・高等学校開校から 30 周年を迎えたことから、「創立 30 周年記念式典・祝賀会」を 10 月 27 日(日)ホテルニューオータニ幕張で実施

(4) 昭和学院小学校

- ・幼稚園から連続した英語教育のための教材の導入
- ・IT 教育設備の活用による効果的な授業の実施

(5) 昭和学院幼稚園

- ・国際語としての英語を習得できるよう英語教育プログラムを導入、毎日 40 分の英語教育の実施
- ・預かり保育の開設(8:00～17:30)
長期休暇中も実施し保護者をサポート(88%の園児が利用)

2. 平成 25 年度 学生生徒等数の状況

(単位：人)

学校名	平成 25 年度				備考
	総定員	在学者数 (定員充足率)	入学定員	入学者数 (定員充足率)	H. 26 入学者数 (定員充足率)
昭和学院 短期大学	320	352 (110%)	160	172 (108%)	165 (97%)
昭和学院 高等学校	1,080	1,183 (110%)	360	413 (115%)	365 (101%)
昭和学院 秀英 高等学校	840	974 (116%)	280	334 (119%)	313 (112%)
昭和学院 中学校	432	400 (93%)	144	128 (89%)	113 (79%)
昭和学院 秀英 中学校	480	563 (117%)	160	200 (125%)	171 (107%)
昭和学院 小学校	480	463 (96%)	80	74 (93%)	81 (101%)
昭和学院 幼稚園	180	147 (82%)	60	3 年保育 39 (65%) 2 年保育 6 (10%)	3 年保育 55 (92%) 2 年保育 10 (15%)
合計	3,812	4,082 (107%)	1,244	1,366 (110%)	1,273 (102%)

3. 校舎・備品等の整備事業

主な校舎等の整備及び備品の購入

学校名	事業名	事業内容
昭和学院 短期大学	ICT 関係機器の購入 及びシステム等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ICT を活用した教育の質の向上を目的として学内 LAN 及びメールシステムを活用するため各教室にプロジェクター、スクリーン等を設置 私立大学等教育研究活性化設備整備事業補助金の対象事業 教育の質の向上を目指した視聴覚教室のクリッカーシステム（リアルタイム集計システム）を含む環境整備及び AV 設備の購入 私立学校教育研究装置等施設整備事業補助金の対象事業
	ピアノ演習室の改修 工事	<ul style="list-style-type: none"> 本館ピアノ演習室の天井、壁、ドア、床等の改修
	屋内消火栓設置工事	<ul style="list-style-type: none"> 新館屋上の消火用水槽タンクの経年劣化に伴い、屋内消火栓の新規設置
昭和学院 高等学校 中学校	駐輪場増設工事	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が利用する駐輪場不足を解消するための増設
	体育館屋上防鳥対策 工事	<ul style="list-style-type: none"> 体育館屋上への鳥の飛来を防ぐためのネット及びワイヤー等の設置
	教育用備品の購入	<ul style="list-style-type: none"> 臨時定員受け入れ等による生徒数増による教室用机、椅子、及びセミナー室用教卓の購入 PC の購入 楽器の購入 教室に遮光用ロールカーテンを取付
	トレーニング機器の 購入	<ul style="list-style-type: none"> 体育館トレーニング室の機器の老朽化による更新

	<p>掲示板の増設</p> <p>非常勤講師室の整備</p> <p>防災用品の購入</p> <p>大町グラウンド整備工事</p> <p>ホームページの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中高各学年用掲示板の増設 ・講師用机、椅子及びロッカーの購入 ・災害時のサバイバルフードの購入 ・硬式野球場の防球ネットの嵩上げ、投光器の増設 ・駐輪場の舗装 ・Web のリニューアル
昭和学院秀英 高等学校 中学校	<p>図書館改修工事</p> <p>空調機の入替え工事</p> <p>貯水槽タンク・ポンプの交換</p> <p>第一体育館の整備</p> <p>避難誘導灯の取替</p> <p>情報処理教室のリニューアル</p> <p>DVD プレーヤーの購入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館壁面の経年劣化（ひび割れ、浮き、剥離、錆汁、エフロレッセンス等）の補修及び床の改修 ・高校棟、中学棟のエアコンが長期間の使用より故障が多発し修理代が嵩み、効率も良くないため新機種に入替え（重量の関係で電気による機種を選定） ・貯水槽等が経年劣化のため震災に耐えられないため新しいものに交換 ・第一体育館の照明を LED 化 ・屋根（鉄トタン）が風で吹き飛ばされたため補修 ・入り口の庇設置の調査を実施 ・中学棟、高校棟の避難誘導灯を LED に取替 ・情報処理教室（メディアルーム）の機種及びソフトを新規のものに入替え、室内を改修 ・授業効果を上げるため、14 教室に DVD プレーヤー等の機器を設置

	<p>ピッチングマシンの入替え</p> <p>エレベータ不適格解消工事</p> <p>ホワイトボード設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校野球部の老朽化したピッチングマシンを入替え ・新耐震基準に合わせた「不適格解消」のための工事を実施 ・中学生の教科の質問に答えるため、中学職員室前廊下にホワイトボードを設置
昭和学院 小学校	<p>英語ルーム増設工事</p> <p>グラウンドの改良工事</p> <p>手摺・フェンスの防錆工事</p> <p>英語教材の購入</p> <p>IT 教育設備の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2階テラス前を改装し、英語ルーム2室を増設 1～4年の英語の少人数授業を実施 ・グラウンド全体の土の改良工事 ・スプリンクラー3台を埋設 ・校舎2・3階南側ベランダ手摺の錆取り・塗装 ・校舎南側フェンスの錆取り・塗装 ・1・2年生用教材の導入 1～3年生は週3時間、4年生以上は週2時間の授業を実施 ・IT教育設備を活用して全学年にまたがり、IT機器による効果的な授業を行うことを目的として、パソコンルームのPC等のリニューアル、各教室に電子黒板、実物投影機、Ipad 40台等を設置。 IT機器活用のためのソフトウェア及びネットワーク機器を整備 私立高等学校等IT教育設備整備推進事業補助金の対象事業
昭和学院 幼稚園	<p>エアコン室外機修理</p> <p>外回りのリニューアル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・台風で使用できなくなったエアコン室外機の取り換え及び設置台の高上げ ・芝生階段の増設、散水栓増設

	<p>工事</p> <p>校舎内のリニューアル</p> <p>教育用機器備品の購入</p> <p>その他の機器備品の購入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帽子掛けの移設、電気スイッチの移設、ロールスクリーン工事 ・ アップライトピアノ 2 台、楽器 1 式 絵本シアターワゴン、テレビ、デジタルカメラ、ノート PC5 台、お昼ねベッド 1 式、空気加湿清浄機 7 台、英語用スクリーン 1 式 ・ 金庫、AED
--	--	--

4. 寄附募集事業

私学を取り巻く環境が厳しさを増している中で、「新しい公共」によって支え合う社会の実現に向けて、学校法人への寄附に対する税制が大幅に改善され、文部科学省からは、この制度を活用して寄附金の募集活動を行い、学校の経営基盤の強化に努めるよう指導があった。

このことに従い、本学院は、教育の一層の充実を目的として「昭和学院教育振興資金」の寄附募集活動を実施した。

寄附金額：22,864,302 円

5. 平成25年度の教育課目標の達成と特色ある教育活動の成果について、

(1) 昭和学院短期大学

本学は、専門知識と技能を身につけた、実践力のある職業人を育成することを使命として、人間生活学科（生活クリエーション専攻・こども発達専攻）及びヘルスケア栄養学科の2学科を設置しています。

人間生活学科生活クリエーション専攻では、生活者としての幅広い知識に基づきそれを生活づくりに応用する姿勢を身につけるとともに、問題の発見・解決に努める能力と豊かに備わった感性をビジネス社会の中で発揮することのできる人材育成をめざしています。

人間生活学科こども発達専攻では、人間の心身の発達について理解し、他者と関わる能力を身につけた保育者の育成をめざしています。入学希望者の増加を受け、平成26年度入学生より入学定員を50名より60名に増員いたしました。

ヘルスケア栄養学科では、人の健康を食と栄養の面から支援・指導できる能力を持ち、健康増進・予防医療・福祉に貢献できる人材の育成をめざしています。

ア. 教育効果向上のための取り組み

本学は、平成25年9月に短期大学協会が実施する第三者評価を受け、4つの基準すべてに「合」の評価が下され『適格』と認定されました。第三者評価『適格』の認定は、本学の高等教育機関としての『質』が社会的に保証されたことを意味します。この結果を踏まえ、今後もPDCAサイクル生かした学修支援の更なる向上・充実をめざします。

イ. 学生支援・キャリア支援

平成25年度の専任教員数(助手を含む)は28名、教員1人当たりの学生数は12.21人でした。少人数制と担任制により学生へのきめ細かな支援がなされています。また、就職課による日常的な就職指導の他、年6回の就職セミナーや就職試験対策講座の実施により就職内定率(平成25年度:95%)を高めました。

ウ. 地域等との連携

地域との連携を深め、教育機能の充実を図る取り組みを行いました。

- ・市川市教育委員会と共催の生涯学習講座「いちかわ市民アカデミー講座」の開講
- ・市川市からの委託事業「昭和学院もこもこ・こどもセンター」の開設
- ・日本フードスペシャリスト協会と共催の「食と健康講座」の開催

エ. 国際交流

本学では、平成25年1月に台湾の台北市にある実践大学と学術交流に関する協定を締結しており、平成25年度には、交流協定校である台湾実践大学民生学院(学部)の学生34名及び至善高中師生約18名が本学の見学、実習への参加目的で来日しました。

オ. 施設設備の充実

短期大学教育の充実をめざし、文科省の補助金を受け施設・設備の改修に取り組みました。

- ・私立大学等教育研究活性化設備整備事業…全教室へプロジェクター・スクリーンの設置
- ・ICT活用推進事業…特別館視聴覚室にクリッカーシステム整備

(2) 昭和学院中学・高等学校

21世紀は、知識、情報、技術があらゆる領域での活動の基盤となる、知識基盤社会の到来だと言われています。若い世代が学ぶ学校教育の場で、教師の果たす役割は重要です。本学院中高の全教師は、生徒の自発的・主体的な学習活動を支援し、情報の収集、選択、活用能力を育成していく集団であるべく、真摯に精進しています。若い世代の吸収力は目覚ましいものがあります。無垢なる心で自らを解放し、学ぶことができます。そんな一人ひとりを教師集団が力強く牽引、サポートしてこそ、21世紀の国際社会で活躍する能力は育まれるものと確信しています。昭和学院から飛び立った生徒一人ひとりがより成長し、活躍する姿に、私たちの喜びと誇りがあります。

建学の精神の『明敏謙讓』を「『明敏』とは活力をもって未来を拓くこと。『謙讓』とは英知をもって社会に生きること。」と解釈し、真に生きる力を持った個性豊かな人間の育成を目指しています。また、教師と生徒のふれあいを大切に知・徳・体のバランスのとれた全人教育を目指し、日々の教育実践に取り組んでいます。

ア. 教育の目標と実践

- ①時代の変化の中で、一人ひとりの生き方を豊かなものにしていく学び、進路実績の向上。
- ②人の気持ちを察することのできる、思いやりのある人間の育成。
- ③「文武両道」のさらなる発展、スポーツ、文化活動における全国での活躍。

(学習指導)

基礎学力・学習意欲の向上のために、基礎・基本的な知識を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育成しています。また、国際化に対応して広い視野と理解力を育む国際化教育を推進し、ALT と日本人教師によるティーム・ティーチング授業、英検C A Tを導入した実用英語検定試験への取り組み、及びカナダでのホームステイ・語学研修等を実施しました。

(生徒指導)

思いやりのある心豊かな人間の育成を目指し、複数の教員で生徒ひとり一人を多角的に見守り、個性の育成と自己表現力の向上を図るとともに協調性や人間関係づくりの力を養っています。

(進路指導)

生徒ひとり一人の未来を考え、生き方を豊かなものにしていく学びを第一にきめ細かいキャリア教育を取り入れています。将来の目標を明確にし、目的意識を持った学習活動により希望の進路を叶えられるよう指導しています。

(部活動の充実)

強い心と体を育み、心身のバランスの取れた人間となるよう指導・支援し、「文武両立」をさらに発展させ、スポーツ・文化活動における多方面での活躍を目指しています。

イ. 地域に信頼される学校づくり

地域への情報発信、地域の小・中学校との合同音楽会、通学路の清掃活動等を行い、地域に開かれた学校づくりを目指しています。

保護者や地域社会の声を学校運営に反映させるシステムづくりの促進及び自己評価による前向きな取り組み等により、評価と信頼を得てきました。

ウ. 未来を志向する教育環境づくり

3年前に創立70周年を迎え、「未来型創造キャンパス」が完成し、安心して安全な最鋭施設・設備を完備しました。

危機管理におきましても教職員一人ひとりが危機管理の重要性を自覚し、日頃より意識を持って行動しています。常に予防的措置を考慮し、全学的な避難訓練の実施、教職員には、緊急時の救急救命の処置及び自衛消防等の訓練を定期的実施し、災害時の必要備品の備蓄等を行っています。

エ. 進路・部活動の実績

高校卒業時には、9割以上の生徒が進学しています。特進クラスでは、国立大学・早慶上理をはじめ有名難関私立大学の受験に臨み、大きな成果をあげています。

平成25年度の卒業生355人のうち、4年制大学に240人(67.6%)、短期大学に3人(9.5%)専門学校に55人(15.5%)が進学し、就職が7人(2.0%)、その他が19人(5.4%)となっています。

部活動は、高校ではスポーツ部門の新体操（高校総体第3位、高校選抜優勝、国体総合第3位、イオンカップ世界新体操クラブ選手権第3位）、体操競技（高校総体出場）、水泳（高校総体出場、アジアユースパラリンピック優勝《個人》）、バスケットボール（高校総体準優勝、国体準優勝、高校選抜優勝大会第4位）、ハンドボール（女子高校総体ベスト8、国体出場、高校選抜出場、男子高校総体出場、国体出場、高校選抜出場）、ソフトテニス（高校総体出場、国体出場、高校選抜出場全）、及び吹奏楽（日本管弦楽コンテスト優秀賞）、書道研究（大東文化大全国書道展団体審査員奨励賞）等全国規模の大会で活躍しました。

中学校でも新体操（全国中学総体準優勝）、バトン（全国大会銀賞）ソフトテニス、水泳及び放送は全国大会で、バスケットボール、体操競技は関東大会出場、吹奏楽（東関東金賞）と千葉県では優秀な賞を取る等活躍しています。

(3) 昭和学院秀英中学校・高等学校

ア. 学校概要

秀英高等学校は創立32年目、中学校は30年目を迎えました。

本校は県内屈指の進学校として県内外の小学校や中学校、保護者等から高い評価や信頼を得ています。国公立はもとより難関私立大学をはじめ有名4年制大学等へ、現役進学率が毎年80パーセント前後の実績をあげており、「入学してから伸びる学校」として広く認知されています。

キャンパスは、幕張メッセに隣接した文教地区に位置し、広い敷地に校舎、図書館、体育館、武道館や屋根付きプール、人工芝のグラウンドなど充実した施設設備を備えています。

イ. 教育の目標と実践

校訓を「明朗謙虚・勤勉向上」とし、「21世紀を支えリードする人間の育成」を目指し、「学力を高める」ことは勿論のこと、「人間力を磨き高める」というバランスのとれた教育を展開しています。

重点目標を①学力の向上（進学成績の向上）②正しい生活態度の確立（豊かな心の人間づくり）③生活環境の整頓美化とし、「質の高い授業の実践」「規範意識の向上」「校舎内に塵ひとつない環境づくり」を教師・生徒一体となって実現に向けて努力しています。

中でも質の高い授業実践のために教師が切磋琢磨できる環境づくりには力を入れており「教師の见えない努力が、生徒の見える学力となって現れる」のスローガンのもと、教科研究会や研究授業等の充実は勿論、外部の講習、セミナーにも積極的に参加させ、教師の資質の向上を図った上で、生徒の学力向上に結びつけています。このような努力の成果として、この数年は大学進学実績も年々向上し、県内の進学校の一つとして高い評価をいただいています。

一方人格形成の面では、「心豊かな人間性を育む」ことを目標に、各種行事や活動を通し手人間関係づくりを図ったり、道徳の授業・清掃活動・芸術鑑賞教室や文化講演会、福祉講演会等を通して豊かな心の育成に取り組んでいます。

また、挨拶をはじめとする基本的な生活習慣の定着などにも積極的に取り組んでいます。

ウ. 将来を見据えた人間づくり

本校教育の根幹には、近年のグローバル化に対応した人間づくりがあります。そのため単に受験に特化した教育をするのではなく、将来国際人として活躍できるよう論理的思考力や表現力を養う読書、作文教育の充実や外国人と対等に対話・議論できる「生きて役立つ」語学教育の充実に努めています。

(4) 昭和学院小学校

昭和学院小学校では、高い学力とやさしい心の育成と温かい人間関係作りを目標に掲げ、子どもたちを教育しております。

特に小学校時代は、心の世界を広げ、自分の頭でものを考える基盤と習慣を養うことが大切です。また、自分の頭で考え、友達とともに考え、その考えを積み重ね創り出していく楽しさを味あわせる授業を目指し、実践しています。

このために、国語と算数、そして英語を中心に、各教科にわたる授業研究を積極的に進め、教師の力量を高めるよう研鑽を積んでいます。先進的な取り組みとしては、1年生からの積極的な英語の授業や、電子黒板やタブレット端末などのIT機器を、全ての教科で積極的に取り入れることなどを実施しております。

また、学校の中心部に位置する図書館は、本好きな子を育てるとともに、好環境の学習情報センターとして子どもたちの学びを支えております。

(課外授業)

放課後行われる課外授業では、英会話・英語検定、理科実験、茶道、体操、囲碁、ソロバンなど多くの学習の場が用意されております。放課後の時間を有効に利用して、子どもたちの知識や教養を高め、豊かな人格を養うことを目標としております。

(教育環境などの施設・設備の整備)

英語教室の改修、グラウンド整備、フェンス工事及びIT設備機器等の導入を行いました。

(教師による日々の研鑽)

“算友会”は、算数の授業研究をテーマにした、志を同じくする教師たちの勉強会です。この会は、県内の有志の先生と筑波大学付属小学校の呼びかけから始まりました。その小さな輪が次第に大きくなり、今では、千葉大学付属小学校や東京都、千葉県の私公立小学校など、多くの先生たちの参加する会となり、毎月、本校を会場に定期的に行われるようになりました。

(主な学校行事と課外活動等)

文化祭や運動会はもちろんのこと、2年生の“なかよしキャンプ”、3年生の“防災宿泊訓練”、4年生の“自然教室”、5年生の“林間学校”“スキー教室”、アメリカの大学生と触れ合う6年生の“アメリカンサマーキャンプ”、希望児童参加の“オーストラリア国際交流プログラム”など、多くの企画があります。英語の授業の延長線上にある外国人との交流などは、生きた英語に親しむ絶好の機会でもあり、異なる生活や文化にふれる最適な場所となります。このような健全な形での交流から、子どもたちは、自然に、国際的コミュニケーション能力や国際感覚を身につけてゆきます。やがて、明日の社会で活躍する“生きる力”となります。

また、夏休みに行っている全校の希望者対象の理科の宿泊行事も大変好評です。自然界の様々な驚きや不思議、感動があふれています。ここでの体験と学習は、子ども達の気持ちを動かし、子どもたちの将来への夢や目標、意欲を高める力となっております。

(5) 昭和学院幼稚園

保育指導の目標

本幼稚園は生活習慣を身につけ、集団生活への理解と態度を育てるとともに、豊かな情操と創造力を養い、心身の発達を助長するよう教育しています。特に、子どもをのびのび育て、体力を高めること、「やるべきこと、やってはならないこと」を判断できる道徳心を養うことに努めています。また、行事が子どもを育てると考えます。楽しいこと、うれしいこと、ひとつひとつの体験が子どもたちを成長させています。

保育内容の改善 … 平成25年度より英語教育、預かり保育をスタートさせました。

(英語教育の導入、アフタースクールの充実)

毎日40分、週5日間のネイティブの先生による英語の指導は、園児の英語力を驚くほど向上させました。卒園後、昭和学院小学校へ入学した子についてはカリキュラムを引き継ぎ指導、他小学校へ入学した子どもたちは、週3回のアフタースクールで支援するようにしています。

(預かり保育の実施)

預かり保育では、午前8時から午後5時30分まで、長期休業中も実施し保護者をサポートし、88%の園児が利用し、好評でした。

英語、預かり保育とも園児数の増加につながっています。平成26年度には、英語学習のグループ人数を少なくし、効果を高めています。また、預かり保育の時間を午後6時までと延長して、保護者のニーズに応じていきます。